

教育プログラムの特徴

四日市大学では、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択され、2014年度より、地域社会と連携し、地域を志向した教育・研究・社会貢献を強化する取り組みを進めてきました。本学の教育プログラムでは、地域の方に講師を務めていただいたり、地域を教材とした学びを深めていったりといった特徴がある学びを通じて、地域の課題等への認識を深め、地域貢献を志向する学生を育てています。

学生の学び

学生は、全学共通教育科目である「四日市学」や「地域社会の歴史」などの科目を通して、地域の歴史や文化、現在抱えている様々な課題などについて学んだり、「ボランティア活動」や「インターンシップ」などの特別科目を通して、地域で働いている人の仕事観や人生観を学んだり、専門教育科目である「コミュニティ論」「土壌学」「地域開発論」などの科目を通して、地域課題のための取組や手法・理論などについて学んだりすることができます。



県内企業採用担当者への一言

四日市大学は、「世界を見つめ地域を考える」のスローガンのもと、地域社会との関係を大切にし、地域を愛し地元の企業や自治体の役に立ちたいと志す人材を積極的に育成しています。この資格を取得した学生は、三重県内の歴史、文化、産業等の特徴を理解し、地域が抱える課題に対して深い関心を持っています。地元にも骨を埋める覚悟と地域への関心・愛着の強い本学の学生の採用を、ぜひご検討ください。